

Kino Press is a newsletter published by Kyoto Seika University and distributed to students, faculty, administrators, graduates and other members of the university community.

1990年11月1日
京都精華大学発行

KINO PRESS 木野通信

KYOTO SEIKA

第14号

UNIVERSITY

This publication is intended to keep readers informed of all aspects of K.S.U.'s development, including on-campus events, personnel changes, student news, and perspectives on campus life.

京都精華大学 企画室
京都市左京区岩倉木野町137
TEL. (075) 702-5201

学長 笠原芳光 雰囲気から学風へ

最近つくられた本学のホスターに（ここ）には自由な空気があると言われている。そのとおりだとも思う。だが、その空気は雰囲気ではあっても学風では、まだない。なにことにせよ、実体のフラスコ・アルファとして立ちのぼり、漂う雰囲気はたいせつである。人間の場合でも雰囲気のない人は魅力にとほしい。だが、その雰囲気も明確な主体性、つ

よい個性がなければ霧散する。主体性や個性をつくるものは、大学においては旺盛な学術探究の精神であり、その成果であらう。学風というものは、そこからはじめて生れてくる。いみじくも学術という。本学の場合それは学問と芸術を意味すると考えた。しかし、その学術は旧来のアカデミズムではない。学問が一つの領域だけで

なく、多くの分野にわたる学際的なものとなりつつあり、芸術もまたジャンルをこえて思想的にも技術的にも交流しつつある今日はまさに新しいアカデミズムが起ころべき時機である。そのような時の本学に美術学部は大学院を新設するべく準備を進めている。今年十一月に文部省に申請書類を提出し、来年二月に現地審査が行われ、順調にゆけば来年四月から発足することになる。大学院美術研究科修士課程、入学定員二十名である。

かなりの程度に達するのではないが、学部内部の発展と学生や社会の要望もあって大学院の設置に踏みきることとした。美術学部はすでに実績を積んできたが、二年前に新設された人文学部はこれからの学部である。将来はここにも大学院を設けたいが、とりあえずは特色を発揮していかなばならない。その最大のもはフィールドワークである。実地調査や体験学習を意味するこの方法をあらゆる科目に適用し、それも三年生の後期四箇月間という長期にわたる、しかも京都、日本各地、アメリカ、オーストラリア、タイで学生が自ら選んだテーマによって行う。これはいまだこの大学にもない画期的な試みである。だが、この人文学部の試行はまだ始っていない。それが緒につき、形を成してきて、はじめて自由な雰囲気だけではない、思想内容を持つ学風が生じてくるに違いない。雰囲気は立ちこめるものであり、学風は吹きつけるものである。雰囲気から学風へ。力強い風よ起これ、と願わざるをえない。

1991年度には着工へ 本学施設整備計画・基本構想固まる

一九九二年竣工予定の本学の施設整備計画はその後、順調に検討がすすみ、現在、建築確認申請の準備中です。認可がおりしだい、一九九一年より着工できる態勢となつていきます。教職員・学生からなる検討委員会では、検討されてきた施設内容も一部を除いては固まりました。左図はその完成予想図です。



飯山電鉄の線路を、講義棟、図書館、厚生棟、クラブボックス、体育館、グラウンド、テニスコートといった施設が並び、キャンパスの中心にあたる調整池のまわりには、学生が自由に集い、語り合うことのできる広場を作ろうと考えています。またAV設備を完備させた講義棟、小劇場を備えた厚生棟など、それぞれの施設の中身もかなり充実したものです。

もちろん、これらの計画を遂行するためには、建築資材の値上がりによるコストアップをはじめ、まだまだ様々な難関を乗り越えなければなりません。しかし、歳書を受容するスペースのない図書館、雨がふれば授業ができなくなる体育実技、といった本学の現状を考えると、何としても実現しなければならぬ課題です。この施設整備計画に、みなさんの智慧と力をお貸しくださることを期待しています。

本学国際交流施設 修学院荘がオープンしました



修学院離宮のとなり、東山のふもと、音羽川のせせらぎが聞える絶好の環境に「修学院荘」がオープンしました。1千坪におよぶ広大な回遊式庭園、由緒ある茶室。京都市が所有している美しい建物を国際交流施設として本学が管理・運営していくことになったものです。

老朽化していた施設・設備も本学の手でリフォームされ、今年6月には京都市・国際交流基金・地元の方々と本学教職員でお披露目パーティーを行った後、本格的に使用を開始。早速アンテイオーク大学、ミシガン大学等の先生方が、宿泊され、利用された方々からは「一様にお誉めのお言葉をいただきました。今後とも、海外からのお客様の宿泊、研究、本学教員、学生との交流等にこの貴重な施設を役立てたいと考えています。」

大学院 あわせて入学定員増も申請中

本年の企画で大学院開設への準備が現在急ピッチで進められています。十一月に設置認可申請書を文部省に提出し、来年の三月に審査の結果が出ることになっていきます。願調に、いけば次のような大学院ができる予定です。

- ☆研究科名
- ☆京都精華大学大学院美術研究科
- ☆専攻科及び入学定員
- 造形専攻 十人
- デザイン専攻 十人
- ☆学位
- 芸術学修士
- ☆学費
- 本学卒業生は約百万円
- ☆募集開始年度
- 一九九一年度生より
- ☆募集開始要項決定
- 一九九一年二月の予定

また、去る九月、文部省に、美術学部と人文学部の入学定員を次のように変更する申請をしました。

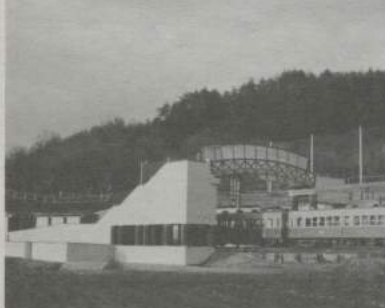
入学試験が年々難しくなっている美術学部の、また開学三年目ながら高い倍率が予想されている人文学部の受験生にとっては大変嬉しいニュースだと思えます。

- ☆美術学部
- 造形学科 入学定員二〇を
- 一五〇に変更
- デザイン学科 入学定員二〇を
- 一五〇に変更
- ☆人文学部
- 人文学科 入学定員一八〇を
- 三〇〇に変更
- ☆募集開始年度
- 一九九一年度生より

飯山電鉄複線化でますます便利に！

電車を降りれば即、大学構内。飯山電鉄「京都精華大前駅」の完成によって本学への通学がますます便利になっていきます。鴨東線の開通もあり、淀屋橋から本学までの所要時間は実に75分。学生の間でも電車通学者が増えています。

また、今年一月に完成したこの新駅舎には、「パラダイオ橋」という名の美しい跨線橋が架けられました。これはルネサンス時代の名橋を想わせようというユニークな試みで、完成時から内外の注目を集め、今ではすっかり洛北の名物駅舎となりました。



さらに、この9月28日より飯山電鉄・鞍馬線の岩倉1、2軒茶屋間が複線化。ダイヤ改正により電車の本数も今後、グンと増える予定です。洛北の美しい自然に開かれながら「便利さ」も享受できる。我々の大学はとてども豊かな環境を手に入れてしまったようです。

人文学部フィールドワーク準備すすむ

フィールドワークは「行動する人文学」を掲げる人文学部の最も特色ある科目です。半年間学外に飛び出し体験学習をするというもので、現実との豊かな交流から、教室や書物の中にはないものを身体ごと学ぶこととなります。その対象地域は、日本各地はもとより、アメリカ、オーストラリア、タイにまで広がっています。

フィールドワークを単位の取得できる科目として全学部規模で実施している大学は、他に例を見ません。三年生の後期に充当される科目として来年度初めて実施される予定ですが、この実験的な試みを成功させるため現在着々と準備がすすめられています。

10月5日には説明会が開かれ、具体的なテーマや応募・選考方法が発表されました。計画の段階をすすめて、いよいよ本格的に動き始めました。

FRIENDS FROM MICHIGAN ミシガン大学が本学で サマープログラム開講



夏期休暇中の七月十日から三週間、米国・ミシガン大学美術学部(Ann Arbor)のサマープログラムが、本学美術学部の共催で開講されました。

六十五才の最年長者を含むミシガンからの十五名の学生達は、十二年来の猛暑にフワフワ言いながらも木版画(黒崎教授、広重講師)と伝統紙漉き(富原教授、山口長夫伝統工芸士)の理論と実習カリキュラムを精力的にこなし、八月一日に全員無事帰国して行きました。

このプログラムには精華の学生も参加し、大学内でのカリキュラムに加えて伝統美術工芸の実習見学、日本の自然(高温多湿で不快な熱帯夜も含めて)と歴史にふれるために、越前の今市町(和紙工芸)と宮崎村(陶芸)、信楽(陶芸)や奈良(美術建築)への研修旅行も行われました。プログラムを終えるにあたって、参加者へのアンケート調査をおこないましたところ、ミシガンからの十五名の参加者のうち十四名から回答を得ることが出来、今後の参考にできる貴重な資料となりました。その中

から、本学側に対してのコメントをいくつか紹介したいと思います。

☆Excellent! K.S.U.(京都精華大学)の国際交流用ハンドブックはとても役に立った。

☆K.S.U.カフェテリアが特別メニューで夏休みも開店してくれた事は有難かった。我々の命綱であり、スタッフの方々はとても親切で親しみやすかった。Thank you.

☆K.S.U.教職員、学生とのパーティーはとても楽しかった。できればもっと多くの学生と会いたかった。

☆講習と施設は Great。時間割りは Poor。もっと制作の時間が欲しい。

☆もっと日本語を勉強してくるべきだったと思った。皆親切で日常生活

に困ることは少なかったが、実習や研修旅行では通訳などはどうにもならなかった。

☆K.S.U.はとても親切で、我々の必要な事によく準備し対応してくれた。ありがとう。

☆帰国後、何人もの参加者より礼状や写真が届き、習得した版画や紙漉きの技法を使った作品を試みているとか、日本語のクラスを取りはじめたとかのニュースがもたらされています。

留学生の仲間が増えています

本学は開学以来の理念として、国際主義を標榜しております。これまでも、主に美術学部を中心として、数多くのすぐれた外国人留学生在が学び、果立って行きました。これらの人達の中には、本国に帰って一家を成し、華々とした活躍をしている芸術家も少なくありません。現在、美術学部には十名の正規留學生と六名の外国人研究生が学んでおります。昨年開設した人文学部にも、今秋の入学試験に合格した四人を含め

て、十二人の外国人留學生が正規留學生として在籍しております。その数は、全学生数に占める割合でいえば、一部の国立大学を除けば、全国でも屈指であろうと思われれます。また、彼らの知的資質と勉強意欲もすばらしいものがあり、日本人学生に対して、強烈なインパクトを与えております。また近年の円高傾向と社会体制の違いからくる経済格差により、私費留學生の場合、彼らの修学は困難を極めております。中国からの留

學生に至りましては、そのほとんどが徒手空拳、学費を自ら支弁するだけではなく、生活費を賄うために、夜間のアルバイトを恒常的に続けざるを得ず、肉体と神経をすりへらしているのが実状です。彼らが授業国際社会で果たすであろう役割を考慮する時、わたくしらは嘆息の念を禁じえません。各種の奨学金が準備されてはおります。しかし、急増する本学の留學生に対して十分な援助を与えるには、その枠に限りがあります。それを補うために、学生課では、学外の奨学金を新たに導入すべく模索しております。

留学生から

洛北の山並みに開かれたキャンパスに鮮やかなツツジが咲き乱れる四月の下旬、大本館前に奇妙な露天商が出現しました。商品は、小型電気煮る古着、鍋釜、シーツ、外国の置物、古着、石けん等々。

景気よくパーキング(値引き交渉)しているのは売手も買手も学生同志。留學生友の会が学生課、国際交流課の後援で行ったこのバザーは、現在三千名余に増えた留學生に安く生活用品を提供することを目的に実施されました。教職員に協力をお願いしましたところ、約七十点もの「商品」が集まりました。売り子も友の会メンバーや留學生が、授業の隙をぬって交替で動きました。

留學生にも喜ばれ、教職員、一般学生からも、リサイクル活動にもなると協力を得ることが出来たこのバザーから、約三万円の売り上げをあげることが出来ました。友の会のメンバー達は、「留學生との親睦会しよう!」や、友の会の用Tシャツを作ろう!などと話し合っていました。

秋も深まり、留學生から、「又、バザーはありますか?」との要望もあり、十月九日(水)に第二回留學生バザーを開きました。

陳 緋(人文学部二年)

山の奥、小さな村に囲まれている所には、われわれの精華がある。日本ではわれわれの精華が大きな大学ではない、大学の歴史も長くないが、しかし精華の人々は己れの精華が好きだと思ふ。私も精華を愛し、精華の山水を愛し、精華の人々を愛している。ここで、短い漢詩を一首作つてさしあげる。

山流溪成櫻粉飄、
風薫雷吼黃柳香。
不知秋熟綠成墨、
疑卷嚴灘噴注洋。

精華にはとても良い山水があるが、明日の世界に偉い人間、不思議な力を持つ人間を造るのによいんだらう。

中国の古典の中には、「陋室銘」という文章があり、

「山には徳というものがあれば、非常に高くなくても、人が必ずあふ。池には、竜があれば、非常に深くなくても、靈驗あらたかになる」とのべていた。

精華の徳と竜は、矢張精華にいたる人々で精華にいつている人々だと思ふ。

案内板 INFORMATION

京都の伝統工芸講座

- 10月4日「生活と文化」 西村大治郎氏 (千吉社長・京都商協理事長)
10月11日「数寄屋建築」 中村昌生氏 (京都工芸繊維大学教授)
10月18日「現代における陶芸」 柳原睦夫氏 (大阪芸術大学教授)
10月25日「現代版画工房の現状と将来」 星田豊司氏 (版画工房主宰)
11月8日「能装束の美/技法と意匠」 切畑 健氏 (大手前女子大学教授)
11月15日「祝儀祭の染織品を中心として」 吉田孝次郎氏 (武蔵野美術大学講師)
11月22日「佛像彫刻」 江里康剛氏 (佛像彫刻家)
11月29日「生活とデザイン」 恩地 博氏 (GK京都取締役総括部長)
12月6日「友禅の話」 羽田登喜男氏 (日本工芸会理事)

アゼンブリー・アワー

- 10月4日「デザインとしての日本美術」 水尾比呂志氏 (武蔵野美術大学学長)
10月18日「社会主義のゆくえ」 中岡哲郎氏 (大阪市立大学教授)
11月15日「ストップ・ア・ジャパンをめぐって」 石川 好氏 (作家)
12月6日「演題未定」 如月小春氏 (劇団NOISE代表)
※アゼンブリー・アワーと伝統工芸講座は学外の方にも公開しています。

美術展

- 第21回京都精華大学卒業制作展 =京都市美術館 (岡崎公園内)
在学学生作品展 (一〜三年生及研究生) =本学構内
会期 1991年1月30日(水) ~2月3日(日)まで

大学祭 (木野祭)

11月2日(金)、3日(祝)、4日(日)の3日間 今年を受験生対象のオープンキャンパスとの関係で、例年とは1日だけ日程が違っていますので、ご注意ください。

司書課程から

今春の卒業生をもって、短大での司書課程は終了しました。資格取得者に関する調査報告を来春には発送したいと思ひ、目下とりまとめ中です。すでに希望された方以外でも、ほしいという方はご連絡ください。 山口瑛子 (人文学部教員)

一九九〇年度 京都精華大役職者

- 学長 原原芳光 (人文・教授)
美術学部長 橋本洋司 (人文・教授)
人文学部部長 矢野正司 (人文・教授)
一般教育主任 大沢真一郎 (一般・教授)
教務部長 中島勝彦 (人文・助教授)
広報部長 松谷昌順 (美術・助教授)
学部長 松岡昌三 (人文・助教授)
図書部長 荒岡興太郎 (一般・教授)
就職部長 吉村昭市 (一般・助教授)
事務局長 景山喜巳 (事務員)

図書館の今日・明日

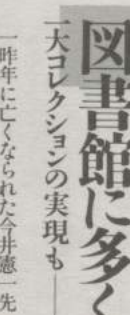
文化芸術 デザインセンター にむけて



いま、「分散と統合」は大学全体の問題として話題にのぼっています。3年後の1993年竣工をめざした新図書館建設計画も進みつつあります。新しい図書館では、文字情報・映像情報・画像情報・立体情報等の情報メディア多様化と情報システムの開発によって資料内容と処理機能に大きな変化がもたらされることとして、おそろく、活字文化(文字媒体)と映像文化(感覚媒体)の情報施設要素はひとつの建物の中に有機的に統合されるにちがいありません。仮に「京都精華大学文化芸術メディアセンター」という名前をつけておけば、その内容を正確に表現しているように思えます。この名称が示す施設は学生教職員だけでなく地域社会の人々にとっても便利で魅力に溢れたセンターとなるとともに、外部の情報サービス機関ともつながりをもつて情報の共同利用を担う存在となるはずでしょう。



「図書館に多くの絵画寄贈」大コレクションの実現も 一昨年に亡くなった津田周平先生のご遺族の好意により、先生のお子さまがご遺族の好意により、先生のお子さまがご遺族の好意により、先生のお子さまが...



「さわかんに別れを惜しんで...」退職された先生方の送別会を開催 今年も別表のように多くの退職者と新着者がありました。人事の往來は組織の恒といたし、今回のように初代学長の岡本先生をはじめ、デザイン部の酒井先生、洋画の金田先生、芝田先生のように開学以来ご指導いただいた先生が、一斉に定年退職されたことは、大きな淋しさを感ぜざるを得ません。また開学一年目から英語・経済学を担当された長谷川(治)先生はイギリスのシェフィールド大学で日本研究を指導するため本年九月末で本学を退職されました。それと、お別れ会を本館三階の会議室で行ないましたが、懐かしい話も聞けました。



送別会で岡本清一先生に花束を贈呈

教職員人事

- 新任 高原 威教授 (美術・版画)
柏原悦徳助教授 (美術・洋画)
伊奈新祐講師 (美術・VCD)
市村富美夫講師 (美術・T・D)
橋本和也講師 (人文)
中島和子教授 (一般・政治学)
松野潔子教授 (一般・英語)
フリーツップ・ルイト教授 (一般・英語)
植瀬佳子教授 (一般・英語)
深作光貞教授 (人文)
齊藤 光講師 (一般・自然科学)
昇任 高谷光雄教授 (美術・助教授)
山下幸雄教授 (美術学部長)
酒井政雄教授 (美術学部長)
金田辰弘教授 (美術学部長)
芝田 耕教授 (美術学部長)
J・シューマイヤ教授 (美術学部長)
以上一九九〇年九月三日付
長谷川治清教授 (人文学部)
以上一九九〇年九月三日付
門間重喜郎教授 (一九九〇年十月一日)
(学外研究)
一九九一年九月三日(イギリス)
佐川美代太郎教授 (一九九〇年七月一日)
武田雄二教授 (一九九〇年四月一日)
(名誉教授就任)
岡本清一先生 酒井政雄先生
金田辰弘先生 芝田 耕先生
以上一九九〇年四月一日付

1991年度入試に向けて 人文学部、公募推薦入試制度を導入!

(1990年度 入試結果)

Table showing 1990 exam results for Art Department (美術学部) with columns for subject, number of applicants, number of examinees, and pass rate.

人文学部一般入試

Table showing 1990 exam results for Faculty of Letters (人文学部) with columns for subject, number of applicants, number of examinees, and pass rate.

(1991年度 入試日程)

Table showing 1991 exam schedule with columns for department, subject, exam type, application period, exam date, and results date.

1990年度入試について ①志願者動向 90年度の志願者数は、人文学部・美術学部総合では4220名で前年度の3005名と比べ、40.4%の増加を見られました。

②都道府県別志願者状況 美術学部の青森県一県を除いて、美術学部も全国から志願者がありました。前年度に比べて82%の増加、

③1990年度入試結果について 人文学部(一般)一次・二次入試及び美術学部推薦、一般入試の志願者・受験者・合格者・倍率について別表の通りです。

OPEN CAMPUSを実施! 受験生に大好評! 博物館学芸員資格課程開設

受験生にもっと大学を知ってもらおうと「オープンキャンパス」が開催されています。入試説明に加え、今年からはミニ講義や、留学生諸君のミニスピーチなども行うことになりました。



OPEN CAMPUSでミニ講義をする日高六郎先生

博物館学芸員課程が開設されました。美術・人文両学部ともに専門性を高めていく職業であり、学生の人気を集めています。

就職状況

短期大学部は昨年学生募集を停止し、人文学部はまた二年生までしかない、ということですが、今年度は美術学部と短期大学部専攻科の教員の求職活動だけでした。

さて、またこれから採用活動を行なう企業もあり、これから就職活動を始めます。このためには、一息つくのはもう少し先になりますが、就職活動に最大限の力を注ぎたいと思います。

現役学生のOB訪問インタビュー

任天堂で「ゲームボーイ」等の開発にたずさわる

加納 誠さん (任天堂開発第一部課長代理)

聞き手 山元 英昌 (美術学部デザイン学科3年生)



山元 いろいろの卒業生が、
加納 72年のデザイン卒業です。三
期生にあたるのかな。
山元 今、どういってお仕事を？
加納 任天堂の開発第一部というこ
ころに属してまして、コンピュー
タゲームのソフトを開発していま
す。例えば「ゲームボーイ」なん
かは僕たちが手がけたものでし
山元 あれは爆発的にヒットしまし
た。でもあんな面白いものを作るに
はコンピュータの知識がないと難
しいですよ。
加納 僕なんか最初は全くの素人で
したけど(笑)。プログラマーと相
談しながらやるし、知らない人の
方が斬新な発想をすることもあり
ますよ(笑)。

山元 加納さんが在学された頃の
大学はどんな雰囲気でしたか。
加納 まだまだ大学自体が組織化さ
れておらず、すごく自由でした。
明窓館のところがまだ空地で、石
が転がっている中でラグビー部が
練習していました(笑)。それを見て
僕も入部したんですが、
山元 僕達の間では今、レゲエが流
行ってたりするんですが、音楽も
ファッションも全然違うたんでし
ようね。どんな時代でしたか。
加納 高度経済成長がピークを迎え
た頃で、新しい表現が出て来た時
代じゃないかな。
山元 一番興味があった
のは？
加納 やはりラグビー
ですね。あれこれ
山元 僕は野球部なん
ですけど、精華はク
ラブ活動が盛んじゃ
ないという気がする
んですが…
加納 クラブに打ち込
むというのはいくつかあるところ
で、そのうちの一つは欲しいね。
学校ももう少し援助してあげてほ
しいですね。
山元 どんな遊び方をしましたか。
加納 金が無いのが美德の時代だっ
たからね(笑)。Gパンに汚いTシ
ヤツで、オシヤレして「ホットド
ッグ」読んで女の子を誘うとかい
う行き届いた時代じゃなかった。
みんな陣取でしたよ。酒は浴びる
ほど飲んでたけど(笑)。
山元 恋愛とかは？(笑)
加納 そりやありましたよ(笑)。結
婚した相手も精華だし…。まあ、
そのへんは…(笑)。

山元 加納さんが精華で一番学んだ
ことは何ですか。
加納 何もないところから何かを産
み出す力というか、一から「三
へ進む」というのは比較的簡単な
んです。難しいのはゼロから「一
へ進む」のほうで、踏み出すかなん
でも、そのキツカケを学んだ気がす
る。ノリで作品をつくるというこ
とをね、楽しいものをつくるには
楽しくやらなくちゃいけない。こ
れは今も僕の哲学になってる。そ
ういう意味で精華時代の仲間が社
会に出てからもみんな活躍してま
すよ。ウチの会社でも精華出身の
連中はかなりのパワーがあるし
ね。
山元 先輩として、今の学生にどん
なことを期待されていますか？
加納 ヒマな時間何をしてたかです
ね。大学を何に利用したのか。一
番大切な時間だからね。何もして
なかったはずがないし、こうして
使いた方がよかったです。自信持て
るものが欲しい。精一杯生きてる
雰囲気が出てほしいと思う。



山元 加納さんが在学された頃の
大学はどんな雰囲気でしたか。
加納 まだまだ大学自体が組織化さ
れておらず、すごく自由でした。
明窓館のところがまだ空地で、石
が転がっている中でラグビー部が
練習していました(笑)。それを見て
僕も入部したんですが、
山元 僕達の間では今、レゲエが流
行ってたりするんですが、音楽も
ファッションも全然違うたんでし
ようね。どんな時代でしたか。
加納 高度経済成長がピークを迎え
た頃で、新しい表現が出て来た時
代じゃないかな。
山元 一番興味があった
のは？
加納 やはりラグビー
ですね。あれこれ
山元 僕は野球部なん
ですけど、精華はク
ラブ活動が盛んじゃ
ないという気がする
んですが…
加納 クラブに打ち込
むというのはいくつかあるところ
で、そのうちの一つは欲しいね。
学校ももう少し援助してあげてほ
しいですね。
山元 どんな遊び方をしましたか。
加納 金が無いのが美德の時代だっ
たからね(笑)。Gパンに汚いTシ
ヤツで、オシヤレして「ホットド
ッグ」読んで女の子を誘うとかい
う行き届いた時代じゃなかった。
みんな陣取でしたよ。酒は浴びる
ほど飲んでたけど(笑)。
山元 恋愛とかは？(笑)
加納 そりやありましたよ(笑)。結
婚した相手も精華だし…。まあ、
そのへんは…(笑)。

人文学部・岡井隆 教授 斎藤茂吉短歌文学賞を受賞!

岡井隆教授は人文学部で「日本詩
歌論」「日本文学概論」を講じておら
れるが、現代短歌の第一人者である。
六月に最新歌集「視和力」によって
第一回斎藤茂吉短歌文学賞を受賞さ
れた。医師であるとともに歌人であ
る点では斎藤茂吉と同じであり、ま
ことにふさわしい受賞である。
「視和力」から一言あげる。
「チエホフは数かぎりなき暗喩も
てオリガをよびき死の匂ふまで」
「戦前の青山に降る日のひかり置
きてぞおもふ茂吉をまことに」

歴史を未来へ「京町家展」 本学ULD教員が出展! 学生も協力参加

京都文化博物館で、9月29日から
10月28日の一ヶ月間にわたって「京
町家展」が開かれました。京都に現
在8万戸ある「小さな都市」ともよ
べる町家の歴史と現在をふりかえり
つつ、未来への架け橋を探る建築展
です。
主催は京町家展実行委などです
が、上田篤教授をはじめとするアー
バンリビング分野の先生方が最前線
の建築家として参加しています。ま
た同分野の学生諸君も先生方の協力
者として名前をクレジットされてお
り、重要な役割を果たしています。

同窓会・総会及び懇親会 へのおおそい

卒業生の皆様、如何お過ごしでし
ようか、今年も木野祭の季節がやっ
てまいります。毎年、木野祭の時に
開きます「同窓会総会」と「懇親会」
も、今年は第3回を迎えます。東京
支部ができつつあり、わが同窓会
「木野会」も、少しずつ地盤が固ま
ってまいりました。

秋の日の一日、美しい木野の里で、
なつかしい、友や先生方と歓談の一
時をお過ごしになってはいかがです
か。今年も、多数のご参加をお待ち
いたしております。なお、懇親会は
木野会が主催いたします。
卒業生や先生方のためのお会です
ら、木野会会費が未納の方も、どう
ぞご遠慮なくご参加下さい。
木野会 会長 赤坂 博
代表理事 谷 真美子

「木野会」会員 募集中!

「木野会」は、京都精華大学が二
十周年を迎えた二年間、卒業生の有
志が、一万名を超える卒業生の親睦
を図ることを目的に結成を呼びか
け、誕生にこぎつきました。初期の
卒業生は早くも社会の中堅として活
躍され、身辺の異動もなにかと激し
い年代に突入しています。それだけ
に卒業生同志の連帯が求められ、交
流が必要かと思われまします。間もなく
東京支部も発足の予定です。全国に
散らばった卒業生の溜り場、換り所
として「木野会」が活躍するためには、
自主的財源と会員の増加が必要
です。終身会費一万円です。みなさん
の入会を心からお待ちしています。

抱負と期待 新人から一言

現代テクノロジーを基盤とする
「メディアアート」のひびくつである
「ビデオアート」の研究及び制作を
主に活動しています。米年度より美
術学部デザイン学科ヴィジュアル・
コミュニケーション・デザイン専攻
の中に新たに設けられる「映像デザ
イン」コースでビデオを担当するこ
とになりました。ここ二、三年の間
に美術・デザイン系の大学では、ど
こでも映像関連の学科・専攻・コー
スが設置されるという状況がありま
す。映像作品の上映・展覧会を通じ
て、国内だけではなく国際的な大学
間の交流も、今後より活発になるも
のと期待しております。

雑感 エネルギーシユに

精華大学へ来てますます感じたことは、
おとない学生が予想以上に多いと
いうことである。自由な空間があり
ながら、一人一人の、そして全体の
活気が少ないように思う。そしてい
うのは自己の中にある無限の可能性
を積極的に引き出すことができるこ
とである。自己の可能性を信じて新
しいことを生み出していくには莫大
なエネルギーが必要であるが、それ

非常勤講師問題について

本学では将来計画を検討した結
果、昨年四月従来の短期大学部を廃
止して新たに四年制の人文学部を設
置しました。それに伴い短大で委嘱
していた非常勤講師の契約は更新で
きないことになりました。殆どの講
師には了承していたいたが、殆どの講
師が、一名の人がそれを不服としてそ
れぞれ別の外部組合に加入し、その
後今日に至るまで交渉が続いていま
す。二名の人は「不当解雇撤回」「差
別的な非常勤講師制度の改革」など
を大学に要求しています。
しかしこの制度の主旨はカリキュ
ラムの充実と教育研究活動の活性化
のために大学間で教員の交流を計る
ことであり、契約内容も二年間以
内の「嘱託」に類するものです。
即ちこの契約は非常勤講師が本務
校など他に主たる生計の途を求める
ことを前提にしており、ないです。
保障の義務を負っていないのです。
この点が専任者の場合とは全く違
い、仮に契約が反復更新されても大
学に「雇用」継続責任がないことは
多くの判例が示しています。
従って、これは「解雇」ではなく
「契約期間終了」である、というの
が本学の主張です。
またこの制度は国公私立を問わず
広く全国の大学で行われており、大
学の専任教員でない人がこの制度を
利用することは自由ですが、制度そ
のものを「差別的」という考え
は本末転倒です。

一九九〇年十月 京都精華大学

立体造形4年・平田尚加さんバイクでフランス走破!

5/19~6/10、民間親善大使として社
団法人国際文化協会からフランスへ派
遣された。女性25名のオートバイチー
ムで1800*をツーリングしながら日本
の伝統文化を紹介するための。平田さ
さんは無類のバイク好き。剣道部前主将
で三段。その腕前と持ち前のひょうき
んさを買われて抜擢された。7都市を
訪問。サンマロの城で開かれた親善交
歓会では多くの住民から歓迎された。
着物姿で人々と共に踊り、剣道の演武
も行った。「普通の観光では行かない
地方の町をまわって地元の人達と交流
できたのは良い経験になったし、これ
もバイクに乗ってのおかげやと思う」
渡仏前、一行はフランス語、着付け、
踊り等の修練で苦学した。とりわけ彼
女は大学でも仏語の単位取得に四苦八
苦していただけに大変だった。でも、
草の根の交流を通じて最高のツーリン
グを体験できた。その模様は、京都新
聞、月刊オートバイ、テレビ東京など
でも紹介された。美術学部に着置いて
異文化交流もやっしてしまう彼女は、
「文化と芸術のクロスロード」を地
でいく、精華の申し子なのか。

光の虫、輝き

ULD学生が照明デザイナーコンペで銅賞
僕は部屋の隅に不安げに光
る小さな虫のつらみを見
た。小さな虫のつらみは、
わずかな磁力により引きあ
つて、そのまわりの空気に
しん。とした空気が流れ
ときかまわった。
(作品コンセプト)
「光の虫」そのものも
つ、そのまわりの美しさ
は、本学美術学部アーバン
リビングデザイン4年生岡
崎いづみさんの作品。小
泉産業主催「第3回コ
ズミ国際学生照明デザイ
ンコンペ」で銅賞を受賞
しました。コンセプトに
見られるように、受電作
品群の中でも詩的な芸術
的主張を放っています。
また高橋芽久美さん、
橋本正志君が選外佳作と
なりました。

今年は岩倉チョップ!!

「いわくらチョップ」のテーマを掲げ、90年
度木野祭がいよいよ近づいてきました。
年中おまつり状態といわれる精華も、11
月2・3・4日の三日間はグレードアップ。
飲む・踊る・歌うの三拍子そろって、最高
潮を迎えます。毎度おなじみのミスSEKAIに
ニューハーフコンテストをはじめとして、
おもしろイベントがめじろおし。4日のス
テージには、独自のスタンスのとり方でロ
ックファンの注目を集めるニューエストモ
デルも登場します。
同じく4日は受験生を迎えるオープン
キャンパスにもあたっており、ごった煮状
態で沸騰まわがいがいなしと噂されています。

精華犬「おーしま」の近況

一在学中はお世話になりました一
この季節の変わり
り目には、何となく体調が不
良で、熱も出て一時はファイラ
リアかと心配されましたが、
今は飛びぬけてまで回復しま
した。しかし治ったかと思え
今春、お知らせもなく姿を消
しましたが、今、東京都の東
久留米市という雑木林も公園
もある郊外に住んでいま
す。精華大学と全く違う環境の中
で、今では友達もでき、車に
乗って遊びに出る事も、吠え
る事も覚え、新しい体験の多
い日々を過ごしています。



写真 有田雅喜(美術学部デザイン学科3年)

京都精華大学 一九八九年 九〇年度 決算 予算

一九八九年度決算について学校法人会計基準に定められた消費収支計算書と貸借対照表並びに資金収支計算書により別掲の通り報告致します。

一九八九年度決算における帰属収入合計は二億七千万円で、前年度より一億一五七三万円の増収です。

収入の主なものとしては学生納付金が全体の約八割の二億一、九一七万円を占めています。一方支出面をみますと、施設関係支出では、キャンパス環境整備等に三億二、八六七万円、又機器備品図書等の設備関係支出は六、五二六万円となっています。

消費支出では人件費が帰属収入合計の五三％にあたる一億四、四三六万円であり、前年度比では一四％増の二億七、七六六万円増えています。これは人文学部の開設により教員一四人職員六人を増員したことによりです。その他の経常経費の主なものでは大学周辺町内から要望が強かった通学路の緩和として電電鞍馬線に「京都精華大学前」駅の新設にかかる工事費負担が一億二、二百万円でした。これは大学にとって、学生の通学の便宜を図り、かつ大阪方面学生確保のために大いに役立つものと考えて電電に依頼したものです。こうした支出の増は収支の結果にも表われ、当年度の収支差額は一億四、〇一八万円の支出超過となり、前年度から繰越された支出超過額を加えると一九九〇年度へ繰越される収支差額は三億七、七三三万円の赤字となりました。

一九九〇年度予算は別掲の資産収支計算書により報告致します。

今年度は人文学部が発足して二年目を迎えました。学生数は前年度より六八人少ない一、七四七人です。一方教員は一〇人の増員がありました。また今年度も前年度に続いてキャンパスの施設整備の検討を進めて行かなければなりません。

収入予算は前年度とほぼ同じ規模となりますが支出予算では人件費の増で約一億円の赤字予算となっています。国庫補助金の増額があまりに期待できないので、支出面の節減に努力しなければなりません。

将来展望としては、米年度から平成十一年度までの間、臨時的定員増を申請します。これにより米年度の学生総数は二、〇〇〇人となる見込みであり、人文学部も三年目となります。関係で国庫補助金も増額が見込めます。

このような事情により米年度から、収支は単年度ではバランスを保つことができる見込みです。

資産総額は九、六七六、八〇〇万円です。前年度より一億九、五七六万円の増です。借入金金は前年度より一億九、七五万円の増の三、六四一、七四万円です。

貸借対照表

1990年3月31日現在

資産の部	本年度末	前年度末	増減
固定資産	(8,640,537)	(8,584,455)	(56,082)
有形固定資産	(7,796,214)	(7,658,228)	(137,986)
土地	1,856,362	1,856,362	0
建物	3,898,393	4,045,285	△146,892
構築物	990,540	732,559	257,981
建設仮勘定	25,000	25,000	0
教育研究用機器	656,747	659,877	△3,130
その他の機器備品	5,490	5,947	△457
図書	362,799	332,415	30,384
車	883	783	100
その他の固定資産	(844,323)	(926,227)	(81,904)
電話加入権	1,797	1,647	150
有価証券	3,151	3,151	0
長期貸付金	210,801	197,575	13,226
退職給付引当特定資産	43,544	23,575	19,969
減価償却引当特定資産	435,030	550,276	△115,246
繰越剰余引当特定資産	0	0	0
資産取得引当特定資産	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	150,000	150,000	0
流動資産	(1,037,542)	(794,273)	(243,269)
現金預金	716,393	469,182	247,211
未収金	56,205	25,980	30,225
短期貸付金	1,409	2,708	△1,299
有価証券	251,603	283,866	△32,263
備前金	961	1,166	△205
立前金	10,895	11,146	△251
前払金	0	125	△125
保保証	75	100	25
内部勘定	(△ 1,272)	(2,312)	(△ 3,584)
資産の部合計	9,676,807	9,381,040	295,767
負債の部			
固定負債	(3,450,795)	(3,355,003)	(95,792)
長期借入金	3,376,560	3,341,746	34,814
退職給付引当金	74,235	13,257	60,978
流動負債	(902,238)	(890,524)	(11,714)
短期借入金	265,186	190,246	74,940
未払金	34,933	67,479	△32,546
前受金	563,670	596,596	△32,926
預り金	38,449	36,203	2,246
負債の部合計	4,353,033	4,245,527	107,506
基本金の部			
第1号基本金	5,420,909	5,102,463	318,446
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金(特定基本金)	150,000	150,000	0
第4号基本金	130,000	120,000	10,000
基本金の部合計	5,700,909	5,372,463	328,446
消費収支差額の部			
本年度繰越消費支出超過額	377,135	236,950	140,185
消費収支差額の部合計	△377,135	△236,950	△140,185
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	9,676,807	9,381,040	295,767

1989(平成元)年度消費収支計算書

1989年4月1日から
1990年3月31日まで

消費収入の部	金額
学生納付金	2,129,170
手数料	127,313
寄付金	61,085
補助金	165,442
資産運用収入	89,109
資産売却差額	4,159
事業収入	33,702
雑収入	60,023
帰属収入合計	2,670,003
基本金組入額合計	△328,445
消費収入の部合計	2,341,558
消費支出の部	
人件費	1,414,369
教育研究経費	683,764
管理経費	174,690
借入金等利息	198,433
資産処分差額	0
分担金	10,062
徴収不能引当金繰入	425
消費支出の部合計	2,481,743
当年度消費収支差額	△140,185
前年度繰越消費収支	△236,950
翌年度繰越消費収支	△377,135

1989(平成元)年度資金収支計算書

1989年4月1日から
1990年3月31日まで

収入の部	金額
学生納入金	2,129,170
手数料収入	127,313
寄付金収入	46,805
補助金収入	165,442
資産運用収入	89,109
資産売却収入	394,752
事業収入	33,702
雑収入	60,023
借入金収入	1,300,000
前受金収入	563,670
その他の収入	199,396
資金収入調整勘定	△653,369
内部勘定収入	1,398
前年度繰越支払資金	469,182
収入の部合計	4,926,593
支出の部	
人件費支出	1,353,391
教育研究経費支出	414,929
管理経費支出	173,316
借入金等利息支出	198,433
借入金等返済支出	1,190,246
施設関係支出	328,670
設備関係支出	65,268
資産運用支出	378,297
その他の支出	145,853
分担金支出	10,062
資金支出調整勘定	△46,079
内部勘定支出	△2,186
次年度繰越支払資金	716,393
支出の部合計	4,926,593

1990(平成2)年度資金収支予算書

1990年4月1日から
1991年3月31日まで

収入の部	金額
学生納入金	2,200,306
手数料収入	154,650
寄付金収入	42,400
補助金収入	195,500
資産運用収入	62,500
資産売却収入	200,000
事業収入	4,000
雑収入	8,414
借入金収入	1,000,000
前受金収入	330,130
その他の収入	123,373
資金収入調整勘定	△573,670
内部勘定収入	0
前年度繰越支払資金	716,393
収入の部合計	4,463,996
支出の部	
人件費支出	1,500,000
教育研究経費支出	322,652
管理経費支出	110,775
借入金等利息支出	234,000
借入金等返済支出	1,265,186
施設関係支出	46,000
設備関係支出	83,814
資産運用支出	100,000
その他の支出	114,533
分担金支出	11,271
資金支出調整勘定	(予備費) 【30,000】
資金支出調整勘定	△40,895
次年度繰越支払資金	686,660
支出の部合計	4,463,996

1991年度 学費一覽

美術学部

	1年生 (1991年入学)	2年生 (1990年入学)	3年生 (1989年入学)	4年生 (1988年入学)
入学金	180,000	—	—	—
授業料	1,043,000	1,043,000	1,043,000	1,043,000
実験実習費	10,000	10,000	10,000	10,000
教育充実費	323,000	323,000	323,000	323,000
計	1,556,000	1,376,000	1,376,000	1,376,000

人文学部

	1年生 (1991年入学)	2年生 (1990年入学)	3年生 (1989年入学)
入学金	180,000	—	—
授業料	799,000	799,000	799,000
実験実習費	10,000	10,000	10,000
教育充実費	206,000	206,000	206,000
計	1,195,000	1,015,000	1,015,000